

ザーラ・イマーエワ (Zara Imaeva)

1961 年生まれの、アゼルバイジャン在住のチェチェン人女性映像作家。国際アートセラピーセンター DiDi の創業者である。伝統主義的民族文化の豊かな旧ソ連領チェチェンの南部山岳地帯に生まれ育ち、モスクワ国立大学ジャーナリズム学科で学び、近代的な高い知的教養を兼ね備える稀有なチェチェン女性である。

少女時代より映画監督を夢見て、学生時代にはモスクワの様々な撮影所でアルバイトの助手を務め実技を習得した。学生時代から揺籃期の地下独立運動に関わり、独立派政府の外務省広報官や文化省映画担当次官なども経験する。第 2 次チェチェン戦争とともに近隣のアゼルバイジャンに亡命、政治運動には距離を置き、2004 年以來、精神的なトラウマを抱えた子どもたちへのユニークな国際アートセラピー活動をチェチェン人難民だけでなく、在アゼルバイジャンの広範な専門家や知識人、国際組織・外交団などの協力のもとに展開してきた。

映像作品に、チェチェン戦争難民の子どもたちの証言ビデオ「子どもの物語にあらず」(2001 年) が、国際的に注目され、2003 年秋、国際人権団体、アムネスティ・インターナショナル日本の招きで来日、全国 17 箇所で、講演・上映会形式のスピーキング・ツアーが組織された。難民の子どもたちの描いた原画によるアニメ「春になったら」(2004 年)、チェチェン語による児童ミュージカル「お隣さん」、そのメイキングビデオ「私たちの DiDi」(2005 年)、チェチェンとアゼルバイジャンの難民夫婦の出会いと愛の物語「描かれた壁の家」(2008 年)、在日韓国人作家、姜信子とのカザフスタンにおける両民族の強制移住と出会いの記憶を追った「行って・らっしゃい」(2012 年)、DiDi に加わった重度障害児を描いた「私はエラザ」(2013 年) などがある。

ウェブ上で見られるザーラ・イマーエワ作品

「子どもの物語にあらず」

「春になったら」